

園名	あそか保育園
日時	令和6年 12月

## 1, 活動テーマ

<テーマ>

3歳児・・・「どんな音かな？」・身近な物で様々な音を楽しむpart 2

<テーマ設定理由>

・先月も身近な物に触れて音を鳴らす活動を行った。その際、身近なものに子ども達は興味を示していたが、音の探求するよりも見立て遊びをしているように感じた。今回は新しい素材も用意し、子ども達への言葉掛けや進め方など工夫をすることで子ども達の様子に変化・気付きがあるか気になり行うことにした。

## 2, 活動スケジュール

- ・2グループ（1グループ10人程度）に分かれる。
- ・身近な物に触れたり、組み合わせたりして様々な音を楽しむ。
- ・音楽が聴こえる中で自由に音を鳴らしてみる。

## 3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定



## 4, 探究活動の実践

<活動内容>

- ・新しい素材や材料があったので興味を持つ子どもが多かった。ガラス瓶やカップの中にペットボトルキャップを入れてスプーンでかき混ぜる、卵パックなどを手で押しつぶしてみたり、ラップの芯で叩くなど好きなように触れたり、音を鳴らしていた。・フライパン、ザル、泡だて器などがあったので見立て遊びをする子どももいた。
- ・見立て遊びや、叩きつけて音を出すことが多かったが材料を積み重ねて音を鳴らしてみる子どももいた。
- ・音楽が流れる中で好きな音を自由に鳴らすことを楽しむ。

<活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関り>

<素材や道具に興味を持ち触れたり、試したりする様子>

子どもの声

「せんせい。このおときこえる？」

保育士の声

「どうやったら音が鳴るの？」

子どもの声（音を鳴らしながら）

「マラカス」「たいこみたいなおと」

→子どもは親しみのある楽器にして音を鳴らす姿が多い

子どもの声

「これをするとおおきいおとがする」

保育士の声

「本当だね」「どんな音だろう」

子どもの声

「どっかーん」「かみなりのおとだ」

<音楽が流れる中で鳴らしてみる>

- ・保育士に「1番好きな音・良い音はどれ？」と聞かれて戸惑う様子も見えた。
- ・1つの音を鳴らし続けたり、色々な音を試したりもしていた。



## 5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

素材の中におままごとの玩具などもあったので見立て遊びが楽しくなる子どもが多かった。見立て遊びの中でも様々な音が聞こえたので子どもの遊びを見守りつつも「お料理の音する?」「好きな音はどれだった?」など子どもに問いかけてみた。保育士に音を鳴らして聞かせてくれるがどんな音をするのか言葉で表現をすることは難しいのだと感じた。最後は音楽を流し、子ども達に好きな音を探してもらい鳴らすことを楽しみたいという思いがあった。どのような活動にしたいかや・年齢に合わせて導入や、まとめをすることを大切にしたいと感じた。